

予算	款	項	目	決算書	
	7	1	3	244	頁

目名	観光費
----	-----

事業名称	観光振興事業
------	--------

1. 概要

目的	豊後大野市の魅力ある観光素材を発掘し、観光商品の開発や情報発信をおこなう それにより交流人口の増加につなげ、観光誘客および定住につなげていく	対象	市民
事業概要	○観光情報発信PR事業…魅力ある食や物産、地域の情報発信により観光誘客に努めた。[対象:市内外の観光客] ・写真コンテスト事業…豊後大野市の自然、景観、祭りなどを題材とした作品を募集し、写真を通じた交流人口の増加に努めた。 [対象:市内外の写真愛好家] ・観光関連機関負担金…負担金 [対象:関連機関]		
	○観光振興事業…観光振興事務業務 [対象:市内外の観光客] ・九州オルレ「奥豊後コース」活用促進事業…観光協会に委託し、オルレ「奥豊後コース」の来訪者調査及び情報発信業務を行った。[対象:観光客及びマスコミ等] ・駅間観光自然遊歩道等調査事業…観光協会に委託し、駅間自然遊歩道コースの掘起こし調査等を行った。 [対象:市内外の観光客]		
	○ジオプロジェクト推進事業…ジオサイトサイン作成・設置(市内16カ所) [対象:市内外の観光客] ・ジオパーク推進協議会事業…協議会運営助成 [対象:市民及び市内外の観光客]		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	観光情報発信PR事業	観光広告	委託料	4,687	4,574				4,574	3
経常	観光振興事業	観光振興事務業務	賃金	8,351	8,286	5,305			2,981	3
経常	ジオプロジェクト推進事業	協議会運営業務	負担金補助及び交付金	11,539	11,185	2,500			8,685	3
計				24,577	24,045	7,805	0	0	16,240	

2. 指標設定

成果指標	指標名	観光入込客数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	2,094,000人			豊後大野市外からの観光入込客数を増加させることを指標とし、数値設定はH20年度時点の道の駅のレジ客数の2.5倍とした			
活動指標	指標	a	道の駅レジ客数	b	c	d		
	数値	目標	1,016,000件/年間	目標	目標	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
観光入込客数	人	1,662,000	1,615,000	1,599,000
	%	79.4	77.1	76.4

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 道の駅レジ客数	件	831,253	807,849	799,977
	%	81.8	79.5	78.7
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
観光入込客数の増加につながる為の情報発信の在り方が課題となっている。
対応（改善点等）
観光資源の発展とポータルサイト設置による情報発信を行っている。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		22,862	26,349	24,045	21,917
うち経常経費		7,341	9,219	11,924	13,577
財源内訳	国費				
	県費	15,521	14,047	7,805	500
	市債				
	その他				
	一般財源	7,341	12,302	16,240	21,417
うち経常		7,341	9,219	11,924	13,577
事業費に係る人件費		6,751	9,962	13,164	15,968
事業費に係る人役		1.57	2.32	3.02	3.60

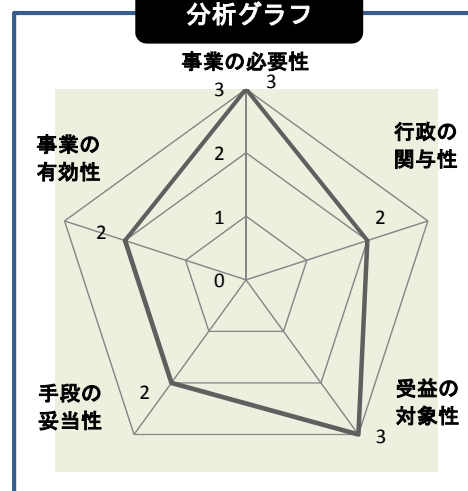
6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
ジオパークの推進に必要な予算である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 単発的なものではなく息の長い観光を目指すため必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 今後行政と民間との責任分担が必要となる。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市外からの誘客を図り市民に還元する。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 目標達成のために適切な手段であるが、検討の余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 期待したほどの成果があがらなかった。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	選択と集中による効果的な事業展開をすること。